

令和元年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構  
医療事故、ヒヤリ・ハット分類別3病院合計発生件数(転倒・転落を除く)

事故の分類	3病院合計(件)	構成比(%)
薬剤	1,163	33.8%
輸血	46	1.3%
治療・処置	223	6.5%
医療機器	273	7.9%
ドレーン、チューブ	447	13.0%
検査	447	13.0%
療養上の世話(転倒・転落以外)	401	11.7%
その他	438	12.7%
合計	3,438	100.0%

医療事故、ヒヤリ・ハットレベル別3病院合計発生件数(転倒・転落を除く)

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)
0	460	13.4%
1	1,731	50.3%
2	699	20.3%
3a	497	14.5%
3b	45	1.3%
4	1	0.0%
5	5	0.1%
合計	3,438	100.0%

(参考)医療事故等の分類(転倒・転落を除く)

レベル	傷害の継続性	傷害の程度	傷害の内容と基準
0	-	-	エラー・不具合に気づき、患者には実施されなかった
1	なし	-	エラー・不具合に気づかず実施したが、患者への実害はなかった
2	一過性	軽度	行った医療または管理により、患者に影響を与えたが、処置や治療を要しなかった
3a	一過性	中等度	行った医療または管理により、本来必要でなかった簡単な処置や治療(消毒、湿布、鎮痛剤投与等の軽微なもの)を要した
3b	一過性	高度	行った医療または管理により、本来必要でなかった濃厚な処置や治療を要した
4	永続的	軽度 ～ 高度	行った医療または管理により、永続的障害が残った 障害が軽度から中等度の場合は4a 障害が中等度から高度の場合は4b
5	死亡	-	行った医療または管理により、死亡

令和元年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構  
医療事故等(転倒・転落)レベル別3病院合計発生件数

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)	H30年度(件)	R1-H30(件)
A	647	77.5%	654	△7
B	149	17.8%	106	43
C	15	1.8%	14	1
D	23	2.8%	22	1
E	0	0.0%	0	0
F	1	0.1%	0	1
合計	835	100.0%	796	39

(参考)転倒・転落の分類

レベル	傷害の程度	傷害の内容と基準
A	なし	患者に損傷はなかった
B	軽度	包帯、冷湿布、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
C	中軽度	皮膚接合テープ・皮膚接着剤、縫合、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
D	重度	骨折をきたして、ギプス、牽引、手術が必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため治療が必要となった
E	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
F	不明	記録からは判定不可能